

実感

理解

実践

農業体験学習

帯広の農業を知ろう！

講義

見学

体験



見学の様子

帯広で生産されている農作物や農機具等を実際にご覧いただきながら、さまざまな体験をしていただきます！

ねらい



農業

農業への理解を深める
食べ物を大切にする心を育てる

場所 帯広市農業技術センター

季節 8月下旬～9月上旬

人数 学年単位

所要時間 60～90分

対象 小学3年生

申込期限 5月下旬

連絡先

帯広市 農政部 農政室 農政課 農産係
電話：0155-59-2323 FAX：0155-59-2448
E-mail：agri_center@city.obihiro.hokkaido.jp

関連単元
【例】

学年	科目・領域等	内容
小学校<低学年>	生活	○学校農園での農作物の栽培
小学校<高学年>	総合的な学習の時間	○農作物の栽培
	社会	○我が国の農業や水産業
中学校	総合的な学習の時間	○農業体験、地域の農産物や加工品に関する調べ学習

ながれ（予定）

説明（10分）

オリエンテーション

- ①帯広の農業概要
- ②帯広市農業技術センターの役割

見学（45～75分）

展示ほ場等の見学

- ①帯広で生産されている農作物の紹介等
- ②農機具の紹介等

体験

- ①作物の味を知る（てん菜の食味体験等）
- ②農作物を活用したアトラクション（とうもろこし迷路等）

まとめ（5分）

学習内容の振り返り



農作物の紹介



とうもろこし迷路

参加者
コメント

○作物の育ち方を教えてもらったり、とうもろこし迷路を楽しみながら農業について勉強することができました。（小3）
○帯広の特産物である小麦やてん菜、じゃがいも等について理解を深め、日ごろの食生活を見直すきっかけとなりました。（小3教諭）

持ち物

- 画板、下敷き等（資料を挟むため）
- 筆記用具
- 雨が予想される場合にはカッパや長靴など

特記事項

- 野外（雨天時は、室内）
- 動きやすく、汚れてもいい服装で

このプログラムを活用した方へのオススメ！プログラム

- 【理解】23 とちの食と地産地消（環境課）
- 【理解】25 動物園の食育授業（動物園）

実感

理解

実践